

PPPoE による端末型インターネット接続 (PPPoE 2 セッション)

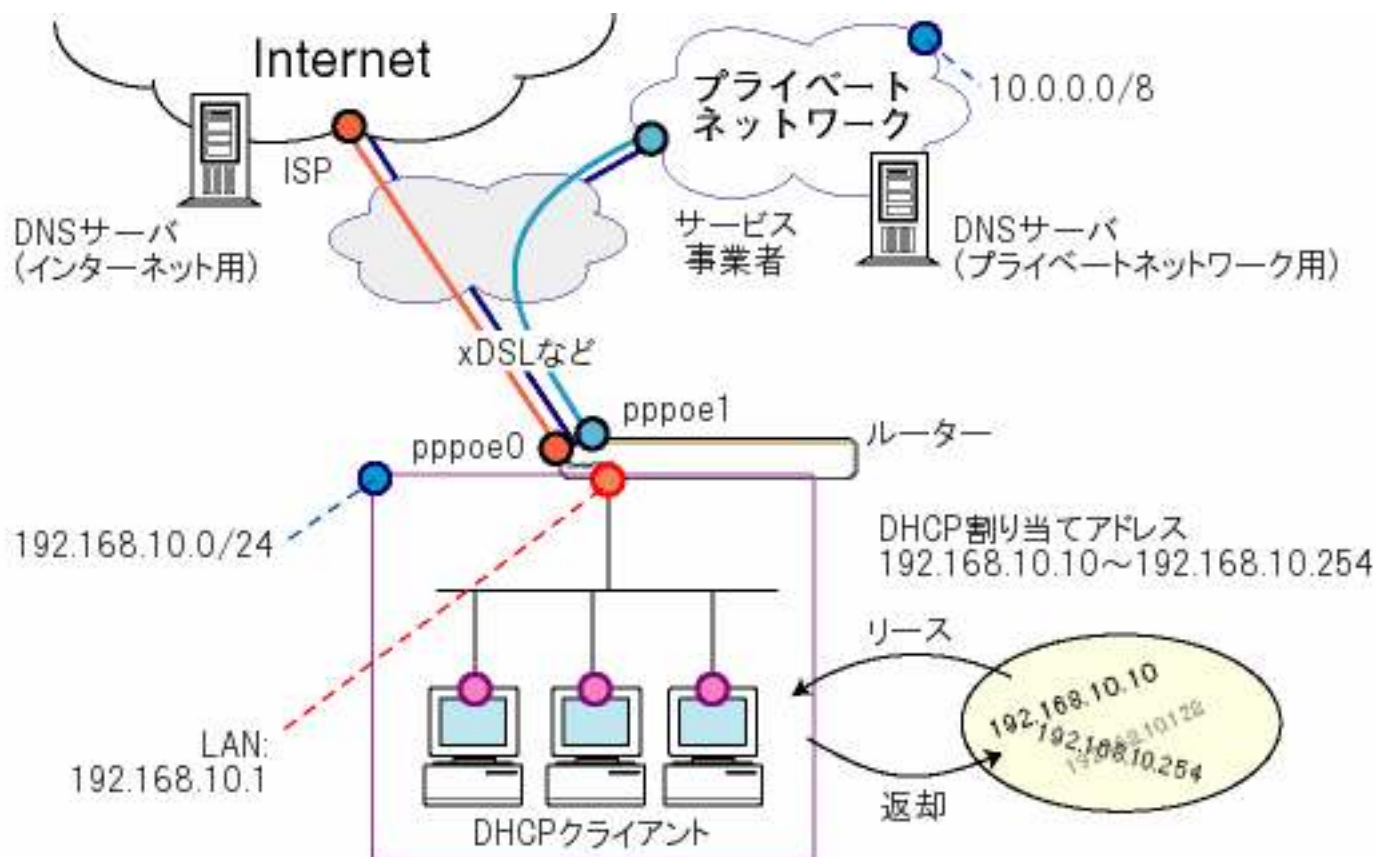
PPPoE マルチセッションを使用して、インターネットサービスプロバイダ(以下 ISP)とサービス事業者のローカルネットワークに接続します。インターフェース ENAT により、複数クライアントからのインターネット向け通信と、サービス事業者のプライベートネットワーク向け通信の同時使用が可能です。

ISP からは、次の情報が提供されているものとします。

	ISP からの情報
PPP ユーザー名	user@isp
PPP パスワード	password
IP アドレス	不定(動的割り当て)
DNS サーバ	接続時に通知される

サービス事業者からは、次の情報が提供されているものとします。

	サービス事業者からの情報
PPP ユーザー名	user@svc
PPP パスワード	password
IP アドレス	不定(動的割り当て)
DNS サーバ	接続時に通知される
プライベートネットワークの IP アドレス範囲	10.0.0.0/8



本構成における設定のポイントは、次の通りです。

- pppoe0 を ISP への接続に、pppoe1 をサービス事業者のプライベートネットワークへの接続に使用します。
- デフォルトルートは pppoe0 とします。
- サービス事業者のプライベートネットワーク宛通信はスタティックルーティングにより pppoe1 へ振り分けます。
- デフォルトで設定されているインターフェース NAT を利用します。
- AR260S V2 は pppoe0/pppoe1 が取得した DNS サーバを順番に使用しますので、宛先ドメインごとに DNS リレー先を指定する必要はありません。

<手順1>

IP アドレスを自動取得するよう設定したPCを接続し、Webブラウザを起動します。
Web ブラウザから「<http://192.168.1.1/>」を開くとユーザー名、パスワードを求められますのでユーザー名「manager」、パスワード「friend」を入力すると、次の画面が表示されます。



The screenshot shows the web interface for CentreCOM AR260S V2. The title bar includes the Allied Telesis logo and the text "CentreCOM® AR260S V2 Version 2.0.0". On the left, there is a navigation menu with options like "設定保存", "セットアップウィザード", "システム情報", "LAN", "WAN", "ルーティング", "ARP", "ファイアウォール/NAT", "VPN", "ログ", "システム管理", "再起動", and "ログアウト". The main content area displays a "セットアップウィザード" (Setup Wizard) dialog box with the following text: "このセットアップウィザードで本製品の基本設定を行うことができます。セットアップを始めるには「次へ」ボタンをクリックしてください。" (You can perform the basic settings of this product with this setup wizard. To start the setup, click the "Next" button.) Below the dialog is a "次へ" (Next) button. At the bottom right, the text "アライドテレス株式会社" (Allied Telesis Co., Ltd.) and "Copyright © 2006,2007 Allied Telesis Holdings K.K. All rights reserved." are visible.

次に、左側のメニューから[LAN]-[IP]を選択します。
[IP アドレス]を 192.168.10.1 に変更して[適用]を押します。



The screenshot shows the "LAN側IP設定" (LAN Side IP Configuration) page. It features three input fields: "IPアドレス" (IP Address) containing "192.168.10.1", "サブネットマスク" (Subnet Mask) containing "255.255.255.0", and "ダイレクトブロードキャスト転送" (Direct Broadcast Forwarding) with radio buttons for "有効" (Enabled) and "無効" (Disabled), where "無効" is selected. Below these fields are two buttons: "適用" (Apply) and "ヘルプ" (Help). The "IPアドレス" field is circled in red in the original image.

[適用]を押した後 1 分ほどお待ち頂き、PC を再起動します。PC が起動完了したら、再度 Web ブラウザを起動して「<http://192.168.10.1/>」を開きます。

<手順2>

左側のメニューから[LAN]-[DHCP]を選択します。

[DHCP サーバ設定]の[始点 IP アドレス]を 192.168.10.233 から 192.168.10.10 に変更して [適用]を押します。

DHCPサーバ設定		
IPアドレスプール	始点IPアドレス <input type="text" value="192.168.10.10"/>	終点IPアドレス <input type="text" value="192.168.10.254"/>
サブネットマスク 255.255.255.0	デフォルトゲートウェイ 192.168.10.1	リース期限 <input type="text" value="00:12:00"/> (dd 日: hh 時間: mm 分)
プライマリDNSサーバ <input type="text" value="192.168.10.1"/> (オプション)	セカンダリDNSサーバ <input type="text"/> (オプション)	
プライマリWINSサーバ <input type="text"/> (オプション)	セカンダリWINSサーバ <input type="text"/> (オプション)	
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>		

<手順3>

左側のメニューから[WAN]-[WAN]を選択します。

[WAN 設定]の[接続モード]に PPPoE を選択し、[デフォルトゲートウェイ]を pppoe0 とします。

pppoe0 はインターネットへの通信に使用しますので、

pppoe0 の[ユーザ名][パスワード]に ISP から提供された内容を入力して、[適用]を押します。

セッションID pppoe0	<input type="button" value="接続"/>	<input type="button" value="切断"/>
アンナンバード PPPoE <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	IPアドレス <input type="text"/> (オプション)	
ユーザ名 <input type="text" value="User@isp"/>	パスワード <input type="password" value="●●●●●●●●"/>	
サービス名 <input type="text"/> (オプション)	AC(アクセスコンセントレータ名) <input type="text"/> (オプション)	
DNSオプション <input type="radio"/> 固定設定 <input checked="" type="radio"/> 自動取得	DNS問い合わせドメイン <input type="text"/> (オプション)	
MSSクランプ <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	クランプ値 <input type="text" value="40"/> バイト	MSS値 <input type="text" value="1414"/> バイト
接続オプション <input type="radio"/> ダイアルオンデマンド <input checked="" type="radio"/> キーブアライブ <input type="radio"/> 無効	エコー送信間隔 <input type="text" value="60"/> 秒	
<input type="button" value="適用"/>		

※ その他のパラメータは、初期状態のまま問題ございません。

<手順4>

引き続き、pppoe1 の設定を行います。

pppoe1 はサービス事業者のプライベートネットワークへの通信に使用しますので、pppoe1 の[ユーザ名][パスワード]にサービス事業者から提供された内容を入力して、[適用]を押します。

セッションID pppoe1	<input type="button" value="接続"/>	<input type="button" value="切断"/>
アンナバード PPPoE <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	IPアドレス <input type="text"/>	
ユーザ名 <input type="text" value="User@svc"/>	パスワード <input type="password" value="●●●●●●●●"/>	
サービス名 <input type="text"/> (オプション)	AC(アクセスコンセントレータ名) <input type="text"/> (オプション)	
DNSオプション <input type="radio"/> 固定設定 <input checked="" type="radio"/> 自動取得	DNS問い合わせドメイン <input type="text"/> (オプション)	
MSSクランプ <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	クランプ値 <input type="text" value="40"/> バイト	MSS値 <input type="text" value="1414"/> バイト
接続オプション <input type="radio"/> ダイアルオンデマンド <input checked="" type="radio"/> キーブアライブ <input type="radio"/> 無効	エコー送信間隔 <input type="text" value="60"/> 秒	
<input type="button" value="適用"/>		

※ その他のパラメータは、初期状態のまま問題ございません。

<手順5>

左側のメニューから[ルーティング]を選択します。

サービス事業者から提供されたネットワーク情報を元に[スタティックルーティング設定]を行います。サービス事業者のネットワーク情報が「10.0.0.0/8」と通知されていますので、各項目を以下のように設定して[追加]を押します。

[宛先ネットワークアドレス] 10.0.0.0

[宛先ネットマスク] 255.0.0.0

[ゲートウェイ] インターフェース

[インターフェース] pppoe1



スタティックルーティング設定

宛先ネットワークアドレス 宛先ネットマスク
10.0.0.0 255.0.0.0

ゲートウェイ
 アドレス インターフェース
pppoe1

追加 変更 ヘルプ

<手順6>

画面左上の[設定保存]を押します。

設定保存ボタン下の「設定が保存されていません」という表示が消えれば設定完了です。

設定例は以上です。